事業所名 <mark>児童発達支援・放課後等デイサービス なぎさ 支援プログラム(参考様式)</mark> 作成日 2025 年 3月 11日

法人(事業所)理念	当施設では、お子さま一人一人の個性に寄り添い、様々な活動を楽しみながら行うことで社会性を身につけ、たくさんの「できた!」を増やすサポートをしています。 いずれ社会に巣立っていくお子さまたちのために、「成功体験を増やす=自己肯定感を高める」ことを大切にし、今日も楽しかった!と1日の終わりに笑顔で言ってもらえるような施設を目 指します。						
支援方針	大切にしたい3つの柱として、「食育」「感覚統合あそび」「ビジョントレーニング」を掲げています。「食育」については、手作りおやつやお料理教室を通じて、食の大切さを学びます。「感覚統合遊び」では、お子さまの個性に合わせた遊びを取り入れ、"夢中で遊んでいたら発達した!"が叶う取り組みを行います。「ビジョントレーニング」では、目と体を動かす力を鍛えて、学習と運動の土台を作ります。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
	支 援 内 容						
健康・生活	来所時は手洗いの実施、体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認することで、健康的な生活習慣の定着を図ります。 また、靴の脱ぎ履き、片付け、食事、排泄など基本的な生活リズムを身につけるとともに、SSTプログラムを中心としたリハビリテーションを行うことで、社会に出てからの自立を目指して いけるようサポートします。						
運動・感覚	運動を通じて体を動かす楽しさを学び、身体のバランスや筋力を育てる取り組みを行います。具体的には感覚統合遊びやビジョントレーニングを導入し、楽しみながらお子さまの発達が叶 う仕組みを作ります。他にも、指先運動(はさみ、ぼたんかけ、お箸)で脳と体の連携を強化したり、全身運動(お散歩、かけっこ、トランポリン等)を通して運動機能の向上と姿勢の安 定を図ります。						
本 人 支 認知・行動 援	カードゲーム、フ	ブロック遊びな	どの知育プログラ	ムを通じて、楽	しく思考力を伸は		た支援を行い、思考力や問題解決能力を養います。具体的には、パズルや 等なルール理解を深めるため、ロールプレイを通じて実践的なスキルを習
言葉の発達やコミュニケーションスキルを伸ばすことは、他者との関係を築くうえで重要です。まず基本的な取り組みとして、顔を合わせた時にお互いに目を見ることを意識 にいます。挨拶以外にも、「ちょうだい、嫌だ、たすけて」など指差しや身振りも使いながら自分の意思を伝えることができるよう支援していきます。また、問いかけに対して! ロミュニケーション 伝える「話す力」と、指導員やお友達の話を「聞く力」をバランス良く育めるようサポートします。							
人間関係 社会性	集団行動のルールを学ぶため、順番を守る、譲り合う、相手の気持ちを考えるといった社会性スキルを遊びの中で習得します。一人遊びの状態が多いお子さまについては、指導員が介入しながら集団参加を支援します。また、外出活動を通じて、公共の場でのマナーや社会的ルールを学びとともに公共交通機関を利用する等して、将来への利用と繋げていきます。						
家族支援	定期的な面談や情います。また、育ます。					移行支援	児童発達支援から放課後等デイサービスへのスムーズな移行をサポート し、学校生活や地域社会への適応を促進します。
地域支援・地域連携	地域のイベントでもに、地域の皆さと連携し、情報力す。	きまとの交流を	深めています。ま	た、地域の福祉	施設や専門機関	職員の質の向上	専門的な資格を持つスタッフが、お子さま一人ひとりのニーズに応じた支援を提供しています。また、定期的な研修や勉強会を実施し、最新の知識や技術の習得に努めています。これにより、質の高いサービスを維持し、 保護者の皆さまからの信頼に応えています。
主な行事等		マス会等の季節	ごとのイベントを	行います。また	、地域交流活動な	などさまざまなプログラムを通じ	は体的には、豆まき、ひな祭り、七夕祭り、夏祭り、ハロウィンパー たて、お子さまの社会性や協調性を育む機会を提供しています。これらの活